

東京都社会保険労務士会 会報

千代田・中央支部

事務局 〒104 東京都中央区銀座1-13-4 大槻経営労務管理事務所内

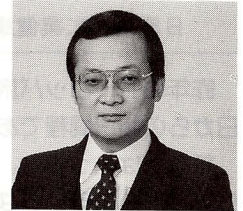
東京都社会保険労務士会 千代田・中央支部 ☎03(535)5006 発行人 大槻哲也

新年のご挨拶

年頭にあたって

支部長

大槻 哲也



新年明けましておめでとうございます。

経済社会の諸情勢は、昨年来混沌とし、新しい時代の激動を予測させる幕開けの感がいたします。

とりわけ人手不足は、中小企業にとって今や深刻な問題となっております。

どこへ行っても「人手が足りない」、「人を何とかしてもらえませんか?」、「せっかく高い求人費をかけて採用したのに、すぐに辞められた」などの悩みをよく聞かれます。特に建設業、製造業では人手不足によって工期や納期の遅延をまねき、違約金または損害金を請求されたり、あるいは受注しても人手がなく契約ができない等が原因となり、いわゆる人手不足倒産がめだっています。

労働市場は、好景気を背景に労働者にとっては売り手市場の傾向にあり、企業側では外国人労働者の雇用緩和を求める声が高まっているほどです。

求人募集または採用時に、新規卒者をはじめより転職による中途採用者の場合も、①週休2日制②社会保険制度の完備(健康保険、厚生年金保険、労災保険、雇用保険)。③従事する職種、就業時間、休暇、休職、賃金、退職金等の労働条件等の基準が「就業規則」で明確にしてあることが応募条件の主要ポイントに挙げられています。

面接時に「まあ、悪いようにしないから任せときなさい」といった対応は、ひと昔前の表現であって、現在では通用なくなっています。

少しでも良い人材を求め、定着率を高める施策は、常に時代の流れの波にのった、タイムリーな労働環境づくりを柱にすえていくことが大切です。

たとえば、一つに時短を実施することです。それには週休2日制、変形労働時間制、フレックスタイム制等をどのように導入していくのか、その取り組みを具体的にスケジュール化していくことです。

次に就業規則を“生きたルールブック”として活用できるようにしていくことです。労働条件や待遇を単に雇用契約の内容として明示するだけではなく、その根拠となる規則や規程をきちっと作成しておく必要があります。

それには、人間が人間ドックで健康診断を受けると同じように、企業も年に1～2回は企業診断ドックで自社の労働環境をチェックし、積極的に改善と整備を進めて行くことが大切です。

人手不足をとりまく諸問題は、社会保険労務士の業務にとっても重要課題の一つです。

今後は、時短及びそれにとまなう就業規則等の整備に関する相談、指導、さらに起案や作成、その後の運用指導といった業務の依頼が相当増えてくることと予測されます。

社会保険労務士は労働社会保険諸法令のスペシャリストであるばかりではなく、人事、労務の専門コンサルタントとして、その業務に精通し事業の健全な発展と労働者の福祉向上に寄与することです。「私は1号、2号業務だけで……。」と言ってはおられないでしょう。今年も会員が相互に協力し、情報がノウハウを提供しあうなど、共に研鑽して資質を高めるべく努力をしていこうではありませんか。



日鐵溶接工業健康保険組合 牧野武夫

昨年のヨーロッパ旅行は夏も終りに近い8月18日からの10日間程であった。

旅行とはいっても、ケチケチ…だから予算をにらみながらいろいろな旅行社のパンフレットを集め、最も安いものにした。(ただし、安ければそれなりの問題もあって、空港の待ち合わせ時間が長いのにには参った)

さて、23時間という長い空の旅を終えて漸くローマ空港に着くと、時差ボケもそのまま、直ちにバスで観光に出発である。



ローマの松とバチカン

ローマで驚いたのは土が赤いこと。そして、からかさのような恰好をした松の木が沢山あって、しかもそれが風景にマッチしていることだ。

気温は摂氏35度。ただし、湿気は感じないから、小しは楽だがそれでも暑い。まず、バチカンに行く。写真では見ているが、あの長い回廊に囲まれた聖堂に入ってみると、やはりカソリックの総本山なのだとの感を深くする。

私が知っているヨーロッパのカソリック教会はバチカンの造りを真似しているのではないかと感じた。

バチカンを出てきたところで暑さと喉の渇きで思わず、街頭のアイスクリーム屋で飲み物を買う。お釣が少ないうような気がするので掛け合ったが、全然言葉が通じない。分からないふりをしているのか、こちらの発音が悪いのか、どちらか？でも、彼等が売りたいと思うときは、カタコトの日本語をあやつるのだから誤魔化されたのかもしれない。(スペイン広場前の新聞店でも同じような感

をもった。イタリアに行く方は要注意！)

パスタ・そしてナポリの旗

市内を一巡りして、漸くホテルに落ち着く。待望のイタリア料理が食べられると期待していたら、出てきたのはスパゲッティ。それも日本流というなら、スパゲッティ・ナポリタンである。これが前菜(パスタ)で後からメイン料理が出てくる。だから、パスタを一生懸命食べていると、メイン料理のときは入らなくなってしまう。

翌日はナポリ・ポンペイ観光である。ここはローマよりもっと暑く、摂氏40度、ポンペイの遺跡巡りでは雨に備えて持参した紺色の折りたたみ傘を日よけにさして歩いた。

ポンペイの食事は大衆レストランで70歳位の老人達3人のバンドがイタリア民謡をサービスしてくれた。このお年寄り達は素晴らしいテノールである。声量はあまりないが、澄んでよくとおる綺麗な声であった。

ナポリに行くと、今日はナポリの旗が見られるかしら、と添乗員がいう。何だと思ったら、ビルとビルの間に洗濯物を干す習慣である。映画ではよく見るが、現実に見るのは初めて、なるほど、ナポリ下町の雰囲気によく似合った風景であった。

夜はカンツォーネレストランで食事、屋外のテーブルを囲み、ろうそくの光で食べるパスタの味は格別であった。(もっとも、パスタを美味しいと思っていたのは、2日目まで。以後は見るのいやな程、食傷気味となった。)

翌日からは、フィレンツェ・ナポリ・ミラノを経て、スイス(ルツェルン・ベルン)へ出てから、パリに一泊、8月末に帰国した。

小雨に煙るパリの町並みが美しかった。

アア、また行きたい!

往復の空路を含めてわずか10日間の小旅行であったが、ヨーロッパは何回いっても素晴らしいところである。

帰ってきた瞬間から、次のヨーロッパ行きのチャンスを考えてしまう。

どうも私のヨーロッパ病はますます重症になっていくようだ。

支部 研修会 が開催されました

9月13日（水）午後3時より、電設健保会館にて支部の研修会が開催されました。

* テーマ：国際化における平成元年度の労働基準行政の重点施策

* 講師：中央労働基準監督署
次長 鵜久森 元二氏

(1)社会経済情勢の変化に対応した行政運営

(2)労働基準行政の課題と重点

①労働時間対策

②労働者の安全と健康確保対策

③その他

a. 国際化の進展と外国人労働者問題

b. パートタイマー指針

研修終了後の雑感

森萩忠義研修副委員長

当日の講師は、金子署長の予定であったが公務のため急きょ変更になり、その代役を務められた鵜久森次長には、心からその労をねぎらい、また感謝する次第である。

高齢化社会の急速な進展、産業構造の変化と就業形態の多様化、または勤労者の意識の変化など社会経済情勢に対応した行政運営を通して「経済大国日本」を勤労者が実感として感じとれる社会を築くことの基本条件整備を目指した重点施策が、労働時間短縮と労働者の安全と健康確保であり、この2点を今後の施策とするとのことであった。

具体的施策としての労働時間短縮については、「時短カウンセラー」として、社会保険労務士の活用が実施されている事は周知の通りであり、注目に値する事であろう。

また、社会的に労働時間短縮の機運や条件が整いつつあるとの認識も基本的には異論はないが、我々の顧問先である中小企業や零細企業の現実をみると、業種間格差や企業間格差の拡大、将来の景気への不安または最近の深刻な人手不足の状況を思うとき、なお困難な問題も少なくないだけに、我々の社会的使命の責任の重大さを痛感する次第である。

法定労働時間の短縮は特例業種を除きそれ程困難な課題ではないが、総労働時間の短縮

は、深刻な人手不足の折りから具体的にどう対処するのか、法定労働時間の短縮による時間単価の上昇をどうカバーするのかなどの諸問題について具体的な解決策を明示する必要に迫られる事を意味しているはずである。

従前の単なる組織と人間の課題から、企業経営を基盤とした広い認識の上にたった組織や人の問題であり、従前より以上に巨視的な視点と幅広い知識およびより深い専門的知識が求められ、その所有する知識を縦横に駆使し、その企業に最も適合する具体的な施策を策定しなければならない。また、これを実施したその結果は、我々の評価が社会的になされる事を意味し、この点において我々社会保険労務士が今、選別台の上に乗せられている現状を痛感する次第である。

その意味において、「時短カウンセラー」は、行政の我々への評価の『踏み絵』であり各会員諸兄の対応が顧問先の我々への評価、ひいては社会的な社会保険労務士の評価の『踏み絵』としての役割を果たすのではないだろうか。そして今後はこのような『踏み絵』をその都度踏みつづける事がわれわれ士業の宿命なのでは…そんな事を研修会場を出ながら思ったのである。



「研修旅行に 参加して」

宮田 浄子〔会員〕

毎年楽しみにしている秋の一泊研修旅行が、電設健保組合さんの保養所・箱根「みやのぎ」で今年も開催されました。豪華なインテリアのロビー、設備のととのった研修ルーム、見はらしの良い部屋、おいしいワイン等々、総勢37名、頭と心身のリフレッシュができました。

研修会は、わが支部の藤原久嗣先生を講師に、「グローバル経済時代の人事・労務管理の課題」でした。この講義の中で最近の労働雇用情勢にふれられました。有効求人倍率が2%近くになり、かつてない深刻な人手不足のため仕事はあっても、仕事をする人がいないので、このままでは、労務倒産がおこる危険性があるということでした。

例えば求人広告を出し続けて何カ月もたつのに、一人の応募者もない。人を求めて北海道まで行っても、その条件に、週休2日制と寮の完備が不可欠とか。労働省の就職予定者への調査によると、たとえ月給が2万円安くても、週休2日制の方が良いと若者たちは考えているようです。「八百半デパート」で、週休3日制を打ち出したら、応募者が殺到したとのことでした。

この背景には最近の若者は、核家族で育ってきた「個の時代」の人であり、何人か一緒にいても、みんな好き勝手なことをしているということが関係しているようです。また、受験戦争の中で育ってきたので、言われたことしかやらない指示待ち人間になっている。終身雇用で、一つの企業で一生を使い捨てるのはイヤ、本業だけでなく他のこともやりたい「半身雇用」、そしてフリーアルバイト時代等々です。

このような状況のなかでの人材確保は、いかにあるべきか。パート・アルバイト・派遣社員をどう活用するかがポイントになるそうです。その一

例としてあるハンバーガーチェーン店のことを話されました。ここでは、正社員は5%、あとの95%はアルバイトやパートですが、求人難のなか、働きたいという人が順番待ちをしているというものすごさです。その秘密は、店は、船であり、従業員はクルー、みんなで力を合わせて船出しようということで、職能資格制度を導入し、毎日毎日、仕事がレベルアップしていくようにマニュアルが作られていることです。努力すれば店長になることも可能だそうです。私も時々この店でコーヒーを飲みながら、キビキビした動作や応待の良さは何なのかと思っておりましたが、労務管理の視点でながめてみると、一人一人の動き、先輩、後輩の役割等とても参考になりました。この講演では、1時間で一人がどれだけの生産性をあげることができるのか、それには、自己実現と自我欲求が満たされることが重要だと述べられました。

さて、二日目は、晴天にめぐまれ、有志で観光タクシーをチャーターし、箱根の秋を満喫してきました。紅葉には、少し早い時期でしたが、観光ルートでは見られない場所に案内していただき、参加者一同大満足でした。

駒ヶ岳ロープウェイを降りると、そこは広い原っぱ、自然に湧きでる神水をたたえた小さな沼があり、さらに登るとこんな高い所にとびつくりしましたが、箱根神社がありました。

お守りを買うとうやうやしく筆で名前を書いてくれるので、なにやらご利益がありそうと、いくつか買ってきました。若い男性の会員は奥さんのために安産のお守りをお願いしていました。ところでこの神主さん、社労士試験の経験者、おもわず話がはずみました。社労士会の発展を箱根の山からお祈りしますとのことばでした。

楽しい研修旅行でしたが、諸先輩の先生方と親しくお話でき、経験談や良きアドバイスをいただける機会を得られたのが私にとっては、何よりの喜びでした。

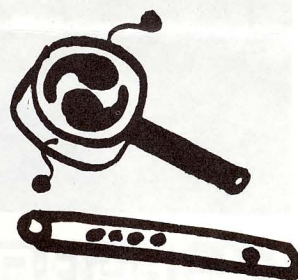
同好会

ご紹介

日本棋院東社労支部

(東京都社会保険労務士会)

のご紹介



昭和59年10月1日日本棋院設立総会を神田明神にて開催し、日本棋院幹部の列席を戴き無事終え、昭和60年1月1日付を以って日本棋院の認定を受け、設立の運びとなりました。以降年1、2回の一泊囲碁会、毎月囲碁例会を開いて参りました。

メンバーは現在37名、支部長は日本橋に事務所を開いておられる小山昇氏です。一泊は箱根湯本、塩山等で、昨年10月には製本健保の白子荘で一泊の囲碁会を行ない、和気あいあい楽しく2日間を過しました。山本事務局長のご配慮を載き大満足で、午前2時就寝、午前5時には碁石を持つという碁キチもありました。碁石も立派なものが備えてあり、今年も是非お願いする予定です。

私達の業界は45歳以上(最高80歳以上)が大半で、頭脳労働にはボケは大敵のため、碁会を始め

たのが趣旨であります。6段が最高で下は10級位です。1年で10級位にはなれます。先生もおいでです。

社会保険労務士が主体であります、それぞれ顧問先の役員の方もおいでなので、皆様で入会賛同の方は下記、ご連絡ください。歓迎いたします。

筆責 山下(東社労支部幹事)

連絡先

〈幹事〉 山下 大九郎

TEL 258-5476

入会金 3,000円

くわしくはお問い合わせください。

新規会員募集中

●千代田中央支部野球同好会

青空の下でおもいっきりバットを振ればホームラン!さわやかな汗を一緒に流しませんか。ふるってご参加ください。

連絡先 新井(マネージャー)

TEL 230-1751

●千代田中央支部ゴルフ同好会

どこまでも広がるグリーン。自然の中でのびのびと、年2回みんなでプレーを楽しんでいます。みなさんのご参加をお待ちしています。

連絡先 千賀綾二

TEL 241-5672



街頭相談コーナーが 開設されました

1. 設置場所 地下銀日本橋駅C3出口
 2. 開設期間 平成元年11月14日・15日
 3. 相談員人数
 役所関係者 7名
 保健相談員 4名
 会員 20名(台東支部8名, 千代田・中央支部12名)
 4. 相談者 91名
 5. 血圧測定者 173名
- 千代田・中央支部では次の方々をお願いしました。(順不同)金網久夫, 富田秀子, 笹田弘充, 長森敏泰, 渡辺和洋, 竹内長次, 山崎雅也, 新井功一, 田中 功, 相馬誠一, 吉瀬君江, 山本弘之

会員異動状況

(単位: 名)

項目 地区	平成元年8月31日現在			異動 (増減)			平成元年10月31日現在		
	開業	勤務等	計	開業	勤務等	計	開業	勤務等	計
麴町	38	136	174	0	2	2	38	138	176
神田	58	127	185	0	△1	△1	58	126	184
日本橋	32	110	142	1	△1	0	33	109	142
京橋	45	102	147	0	0	0	45	102	147
合計	173	475	648	1	0	1	174	475	649

労働保険説明会が開催されました

第56回 平成元年10月3日(火)

- 講師 中央労働基準監督署
関谷 給付調査官
尾形 労働基準監督官
○会員 松林 清雄, 丸山 進
○出席事務所 7

第57回 平成元年11月7日(火)

- 益子 給付調査官
白倉 労働基準監督官
○会員 中尾 幸村, 桑原良治
○出席事務所 13

第58回 平成元年12月5日(火)

- 講師 中央労働基準監督署
今村 給付調査官
狩野 労働基準監督官
○会員 中村 政雄, 渡辺 和洋
○出席事務所 14

支部会報10月号の労働保険説明会の記事の中で、第54回の講師のお名前を千坂労働基準監督官とすべきところを平坂と誤記いたしました。

お詫びして訂正させていただきます。

委	員	会
報	告	



<総務委員会>

第6回 正副支部長・委員長会

10月13日、電設・家具健保組合保養所「みやぎの」において開催されました。

(1)報告事項

- イ. 東京都社会保険労務士会諸会議の結果について
ロ. 部会並びに委員会の活動状況について
ハ. 交歓懇親会(算定打ち上げ)の収支報告について
ニ. 労働保険指導員感謝状受賞祝賀会の収支報告について
ホ. 第3回研修会の結果について

(2)協議事項

- イ. 第7回正副支部長・委員長会の開催について
ロ. 第4回研修会並びに交歓懇親会の役割分担について

第7回 正副支部長・委員長会

11月6日、東京会・会議室において開催。

(1)報告事項

- イ. 東京都社会保険労務士会諸会議の結果について
ロ. 部会並びに委員会の活動状況について
ハ. 研修旅行会の収支報告について
ニ. 第4回研修会の結果について

(2)協議事項

- イ. 第3回正副支部長・幹事・監査会並びに忘年金の開催について
日時 平成元年12月13日(水) 16:30
ロ. 第5回研修会並びに新年会の開催について
日時 平成2年1月10日(水) 14:00
場所 電設健保会館
講師 登山家・医学博士 今井通子氏
テーマ 「ただ今青春真最中」
一私にとって冒険とは一
研修会終了後引続き、新年賀詞交歓会を行う。

等を協議し決定しました。

広報委員会、財務委員会設置

第1回合同会議を開催

去る10月17日に開かれた政連支部幹事会において、政連活動の効果的にして、円滑な事業運営を行うため、支部内に広報委員会と財務委員会を設置することとなりました。

委員の人達は支部会長に一任されていたため、このたび、別記の委員により第1回合同委員会が12月5日、薬業健保健康開発センターで開かれ、およそ次のようなことが話し合われました。

1. 委員長互選について

広報委員長 恩田 和明、財務委員長 清水 克己

同副委員長 田島 守、同副委員長 渡辺 和洋

なお、役務については、特定課題を討議するのではなく、必要に応じて、支部会長から協議活動をお願いすることとした

2. 来たる衆議院選の候補者推せんは、他支部および本部意向とも関係があるため、さらに打合

せを重ね、支部の態度を決定することとしました。

3. その他、賀詞交歓会の関係政党へ案内をどうするか、話し合われ、前例に準じて取扱うこととしました。

広 報 委 員 会	財 務 委 員 会
開 業 ○ 恩 田 和 明 新 井 功 一 富 田 秀 子	雨 宮 功 長 森 敏 泰 △ 渡 辺 和 洋
非開業 △ 田 島 守 岩 田 省 一 榊 原 昭 夫	○ 清 水 克 己 小 林 昭 雄 田 中 功

○ 委員長 △ 副委員長 (順不同 敬称略)

あ と が き



広報副委員長
山本 弘之

▷ 昨年は昭和から平成への事変に相応しく、リクルート疑惑にマドンナの躍進、そして内閣のたび重なる総辞職、外にあっては天安門事件に、東欧諸国の民主化の波濤。

まことに激変の年でありました。

明けて平成2年、消費税がらみの衆議院選の幕明けて、本年も続いて変化のある年になりそうです。

会員の皆さん、どうぞ、健康に留意して激動の年を無事乗りきってください。

▷ 「めでたさも中くらいなり、おらが春」昔も今も、人の心情は変わりません。

ご多幸を心からお祈りいたします。